

# きたすま

「権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、  
その言うことを聴く」(マルコ1・27)

No.211(2月号)

2021年1月31日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1  
発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 3つの石で作られたスープ

グイノ・ジェラルド神父

中世のある時代にひどい飢饉が起きました。国中のあらゆる村が非常に困って  
いました。村人たちは皆、残っている食べ物が盗まれないように厳重に隠していま  
した。ある日、大きな馬車を引いた旅人が小さな村に現れました。するとすぐに村  
人たちは彼を追い出そうとして、「ここには食べ物なんてない。ここからすぐに出  
て行け!」と厳しく言いました。「いえ、いえ、違います。私は食べ物が欲しいので  
はありません。村の皆さんに良い石で作ったスープをただで食べてもらいたいの  
です」。そう言って、旅人は大きな薪を運び、それを斧で割って、火を付けました。上  
に黒い鉄の大鍋を置きました。好奇心から段々と村人たちが旅人の周りに集まり始  
めました。村人たちが大勢集まってきたのを見て、旅人は村人たちに向かって「お  
いしいスープを作るために綺麗な水が必要です。どなたか持って来てくれないでし  
ょうか」と尋ねました。「僕がすぐ持って来るよ」とある青年が言いました。

綺麗な水が注がれる直前に、旅人は持って来た3つの石を黒い鉄の大鍋の中  
に入れました。「美味しいスープを作るために塩とコショウが必要ですが、私は残念  
なことにそれを持っていません」と旅人は寂しそうに言いました。これを聞いて  
いた年寄りの女の人が「私の家にあるから帰ってすぐ持って来ますよ」と言いま  
した。女の人が持って来た塩とコショウを入れて、水に味付けをしました。「そう  
だ! 少しの野菜があればもっと美味しくなるに違いない。ニンジン、トマト、キ  
ャベツ、あるいはキノコなどがあるといいのだが…。それを聞いた何人かの村人  
は「じゃあ、まだ少し家に野菜があるのですぐ持ってくるよ」と言って、急いで  
家に帰り、それぞれに家に残っていた野菜を持って来ました。黒い鉄の大鍋から  
だんだんと良い香りがのぼってきました。

再び旅人はスープの味見をしてから「この村の人々に相応しい、最高級のスー  
プを作るために、ベーコンやソーセージ、あるいは牛肉、鶏の肉、豚肉などがあ  
ればいいのだが…」と言うと、村の肉屋さんたちは声をそろえて「私たちは、ま  
だ売り物の肉を少し持っているので、すぐに持って来てあげるよ」と言って急い  
で店に帰りました。村人たちの協力のお陰で、ビタミンやミネラルが豊富で栄養  
価の高い美味しいスープが出来上がりました。そして旅人が約束した通り、皆が

ただでこのスープをおなかいっぱい食べました。そこで旅人は次のことを教えました。「今は大飢饉の時ですが、皆の協力のお陰でこんなに美味しいスープを皆が食べることが出来ました。このような飢饉の時、人が自分のためだけに食べ物を取っておこうとすれば、ケチになって誰も十分に食べることができません。しかし、今のように自分のために取っておいた物を少しずつ皆と分かち合えば、皆が満腹するほど十分に食べることが出来ます。ですから、これからは今日の体験を思い出して、皆が協力し合えば、無事にこの飢饉を乗り越えることができると信じてください。私は、これから丘の上の村へ行って同じ事を教えるつもりです。今日は本当に皆のおもてなしに心から感謝します。あっ、忘れていました。大鍋に入れた3つの石は、あなたたちの固い心・偏見・恐れのアラわれだったので。しかし、皆の好奇心と分かち合いのお陰で、皆さんの心は段々と変えられて、今では寛大な心になりました。皆がこの寛大さを失わないようにこの3つの石を残しておきます。ケチの誘惑を感じる時には必ずこの石を見に来てください」。旅人はそう言い終わると、村人の拍手の雨を浴びながら村を去りました。そして、彼の教えを大切にされた村人は、翌日から自分のものを分かち合ったので、この飢饉を無事に乗り越えることができたそうです。

「飢えた人にあなたのパンを裂き与えなさい」（参照：イザヤ 58,7）という聖書の言葉が私たちの心を動かすなら幸いです。神は石をパンに変えることはしません（参照：マタイ 4,3）が人間の石の心を取り除き、肉の心を与える」（エゼキエル 36,26）ことは出来ます。石は決して食べ物にはなりません。しかしそんな石でもこの物語が教えたように人々に信頼を示して、上手に使えば大きなことが出来るのです。信頼は人の心を変えるからです。自分が困っている時に孤独と利己主義に落ち込むよりも、誰かと出会って素朴に信頼して、色々分かち合うことが望ましいのです。どんな酷い状況の中にも、利己心を捨てて他の人々と共に解放の道を探す事が最も良い解決策です。

× ..... × ..... × ..... × ..... × ..... × ..... × ..... × ..... × ..... ×

## 成人おめでとうございます！

今年は テレジア S C (SC) さんが成人を迎えられました。

お祝いをご自宅の方に送らせていただきました。



## 昼間の星 (4)

マリスト教育修道士会 吉田 治美

将来への不安から、暗い気分になったことはないだろうか。私にはある。中二の時熊本の農村に引揚げて来て以来、十分な治療が受けられなくて中耳炎が悪化し、大学入試に失敗し、次の年の受験も見送って、念願だった大学進学を断念した時だ。不合格になったのが、試験の成績の結果なのか、耳の検査の結果なのか、その両方なのか、はっきりしないままであった。自分の将来に灰色の雲が広がって行くような思いであった。

その頃、米国から多くの映画が入って来ていた。私はその中のある海洋活劇にすっかり魅せられてしまった。銀幕いっぱいに大写しになった帆船対帆船の海戦の圧倒的な迫力に夢中になり、繰り返し見た。その帰り道、たまたま小さな古本屋を見かけ、立ち寄って店内の本を眺めていると、赤い厚表紙の古びた本が目にとまった。英国の本で、題名を見ると、何とあの海洋活劇の映画のタイトルと同じであった。早速買い求め、家に帰って読み始めたがむつかしい、帆船も出てこない、でもどう展開して行くのか先が知りたくて、辞書と首っ引きで読み続けた。受験勉強のときよりも熱心であったかも知れない。後で分かったことだが、著者は有名な歴史小説家で、私はその後、同著者の他の作品にも夢中になって行った。

前回書いたように、私は校長から、修道士になるよう勧められ「はい」とその場で答えた。その後一年と少しして「マリストの修道士になるには、修練院に行かねばならないが、その修練院は日本にない、米国にある、行きますか」と言われて驚いたが、その場で「はい」と答えた。米会話は全くできなかったが、英文を読むことには、自分なりに、少しずつ自信がついて来ていた頃だった。今でも自分の人生を振り返ると、その決心をさせたきっかけとなったこの本との出会いは、私にはとても偶然とは思えない。神の御計ら이었다と思っている。

米国の修練院には数日遅れて到着したので、一日目のオリエンテーションには与れなかった。周りを見ながら、人に尋ねながら、少しずつ修練院の生活に馴染んで行った。午前中は学習、午後は運動と作業。その間に聖務日課などが入った。皆親切で、いろいろ助けてくれた。

運動で驚いたのは、アメ・フトだ。私にはまったく初めて。ルールなど全く知らない。始まるや否や、誰かに猛烈な体当たりを受け、大の字になって後ろに吹っ飛んだ。何をするっ、と少し腹も立って立ち上がると、また別の相手から体当たりを受け、地面に仰向けに大の字になった。後は入り乱れて走り回る敵だか味方だか分からない人間の渦の中で、右往左往していることに決めた。アメ・フトは幸い三回で終わった。

少しずつ秋が深まり、肌寒くなってきた。修練院の広い牧場にいた牛たちが、列をなして牛舎に帰って来た。土曜の午後は、皆色々な仕事を割り当てられる。私はジョーという志願者と二人で、牛舎の牛たちの世話をすることになった。二人は頭巾つきのスウ

エットシャツを着こんで牛舎に行くと、十四・五頭の牛が待っている。牛の落としものの掃除。次いで乳搾り。自分の左足は尻の下に折り敷き、右足は立膝にして、牛の後ろ脚のすぐ前に触れるくらい近くに立てておくと、牛から蹴飛ばされないですむ。それから搾乳機を当てて乳を搾る。合間を見て、一人はサイロの壁の足がかりで上によじ登り、熊手を使って上から干し藁を下へ落とす。もう一人が下で一輪車にそれを積んで、牛たちに配って行く。私が下で藁を一輪車に積んでいると、頭と背中にドサッと干し藁が落ちて来た。驚いて見上げると、ジョーがニコニコして手を振っている。高い所から私の上に狙いたがわず命中させて、喜んでいる。もちろん交代して私の番が来た時は、しっかりお返しをした。冬の間、土曜日は二人の仕事であつた。

クリスマスが近づいてきて、その準備に取り掛かった。一週間はかかった。その間に、牧場の小川の上流の堰を開いて、水を大量に流しこむと、牧場はやがて広い湖のようになる。それが凍結するとスケート場ができる。長い角材を持って来て、互いを鎖でつなぎ合わせると、スケート場が二つできる。雪が降れば、大きな横長のショベルで除雪、これはかなり疲れる作業だ。積雪がない時はスケートを楽しむ。除雪もスケートも汗びっしょりになる。スケートに少し馴れてきた者は、別のリンクでホッケーをする。私は京城(ソウル)で少し経験があつたから、直進し、曲がり、停止するぐらいはできるので、ホッケー組に入った。と言っても私も誰もあまり上手でない者が多いので、何もしないのに一人でひっくり返ったりして、見ていて面白い。

学習についてはあまり書けなかったが、皆勉強にはとても熱心だ。私は歴史で失敗した。講師の英語が聞き取りにくい上に、教科書のようなものは何もない。講義について行くだけで大変であつた。試験があり、その結果は、落第点(F)で、一瞬目の前が真っ暗になったが、気を取り直した。Fをもらったのはその歴史だけだつた。数学はAであつた。黒板に書かれる数式は日本と全く同じで、講師の説明は分からなくても授業にはついて行けるので、元気を取り戻した。

二年目の三月、ある日呼ばれて修練長室に行った。そして言われたのは、「母上が亡くなられた・・・葬儀も終わったとのこと。今日の午後の日程は皆忘れてよいから、独りで良いように、静かに過しなさい」。ありがたく、そのようにさせていただいた。その日の夕の祈りでは、修練長から話があつて、皆で私の母のために祈っていただいた。後で届いた妹の手紙で、妹が母の隣に床を並べて寝ていて、翌朝目を覚まして見ると母は既に冷たくなつていたとのこと。引揚げ以来、母は祖母と二人で、馴れない畑仕事などで疲れていたことだろう。申し訳ない気持ちでいっぱいであつた。

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。  
わたしの助けはどこから来るのか。  
わたしの助けは来る  
天地を造られた主のもとから。

八月十四日、聖母被昇天の祝日は  
私たちの初誓願の日だ。  
そしてこの修練院とはお別れの日  
日も近い。

## お知らせ

## 社会活動委員会より

いつも物資提供にご協力いただきありがとうございます。防寒服はおかげ様で十分に集まったようです。

今後必要なものとしては

- 毛布、寝袋、リュックサック  
トランクパンツ（Mサイズ）、  
くつした、タオル、石鹸、  
T字型使い捨てかみそり、  
シャンプー（詰替え用）  
トイレトペーパー、  
ポケットティッシュ
- 泡ハンドソープ（詰替え用）
- 食器用洗剤（詰替えOK）
- 食品用ラップ、紙コップ、割りばし  
（夜まわりのおにぎり、みそ汁用）
- 使い捨て貼るカイロ
- カップラーメン、レトルト、缶詰等  
（現物支給用）
- スティックシュガー、お菓子など
- 切手（使用可能なもの）

特に

**マスク、消毒用アルコール、  
泡ハンドソープ（詰替え用）  
使い捨て貼るカイロ  
T字型使い捨てかみそり、  
紙コップ、使い捨てスプーン、  
割り箸（コンビニなどのもの）**

が必要とされているようです。

ロビーに箱を置きましたので、引き続きご協力よろしくお願ひいたします。



## 評議会より

1月23日評議会を行いました。高橋神父さまのお祈りに始まり各委員長から報告がありました。コロナ禍の今、なかなか思うように活動できませんが、「今出来る事をみんなで」と話し合うことが出来ました。

今、復活祭ミサについてアンケートをお願いしています。ご協力宜しくお願ひ致します。

## (復活祭までのミサローテーション)

	1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6A地区	6B・7地区
2月7日	○			○			
2月14日			○				○
2月17日 灰の水曜日 10:00~		○				○	
2月21日				○	○		
2月28日	○						○
3月7日			○			○	
3月14日		○			○		
3月21日				○			○
3月28日	○					○	
4月1日 聖木曜日 18:30~			○		○		
4月2日 聖金曜日 18:30~		○		○			

(参考)

緊急事態宣言下のミサについての教区指針

[http://www.osaka.catholic.jp/c\\_oshirase\\_bun2020.html#210114](http://www.osaka.catholic.jp/c_oshirase_bun2020.html#210114)

## 編集後記

コロナ第3波は大きなうねりとなり2度目の緊急事態宣言となってしまうました。再び四旬節を迎える中、ただ閉じこもっているだけでよいのか悩みます。

私たちの進む道を示してくださるよう祈りつつ、共に手を携え進む力を願います。(K.J.H)

# マンスリースケジュール2月

2021



日・曜日

2/1 月

2 火

3 水

4 木

5 金

6 土

**7 日** 年間第5主日 ミサ10:00～ 第1地区・第4地区

8 月

9 火

10 水

**11 木**

12 金

13 土

**14 日** 年間第6主日 ミサ10:00～ 第3地区・第6B地区・第7地区

15 月

16 火

17 水 灰の水曜日 10:00～ 第2地区・第6A地区

18 木

19 金

20 土

**21 日** 四旬節第1主日 ミサ10:00～ 第4地区・第5地区

22 月

**23 火**

24 水

25 木

26 金

27 土

**28 日** 四旬節第2主日 ミサ10:00～ 第1地区・第6B地区・第7地区

3/1 月

2 火

3 水

4 木

5 金

6 土

**7 日** 四旬節第3主日 ミサ10:00～ 第3地区・第6A地区

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。